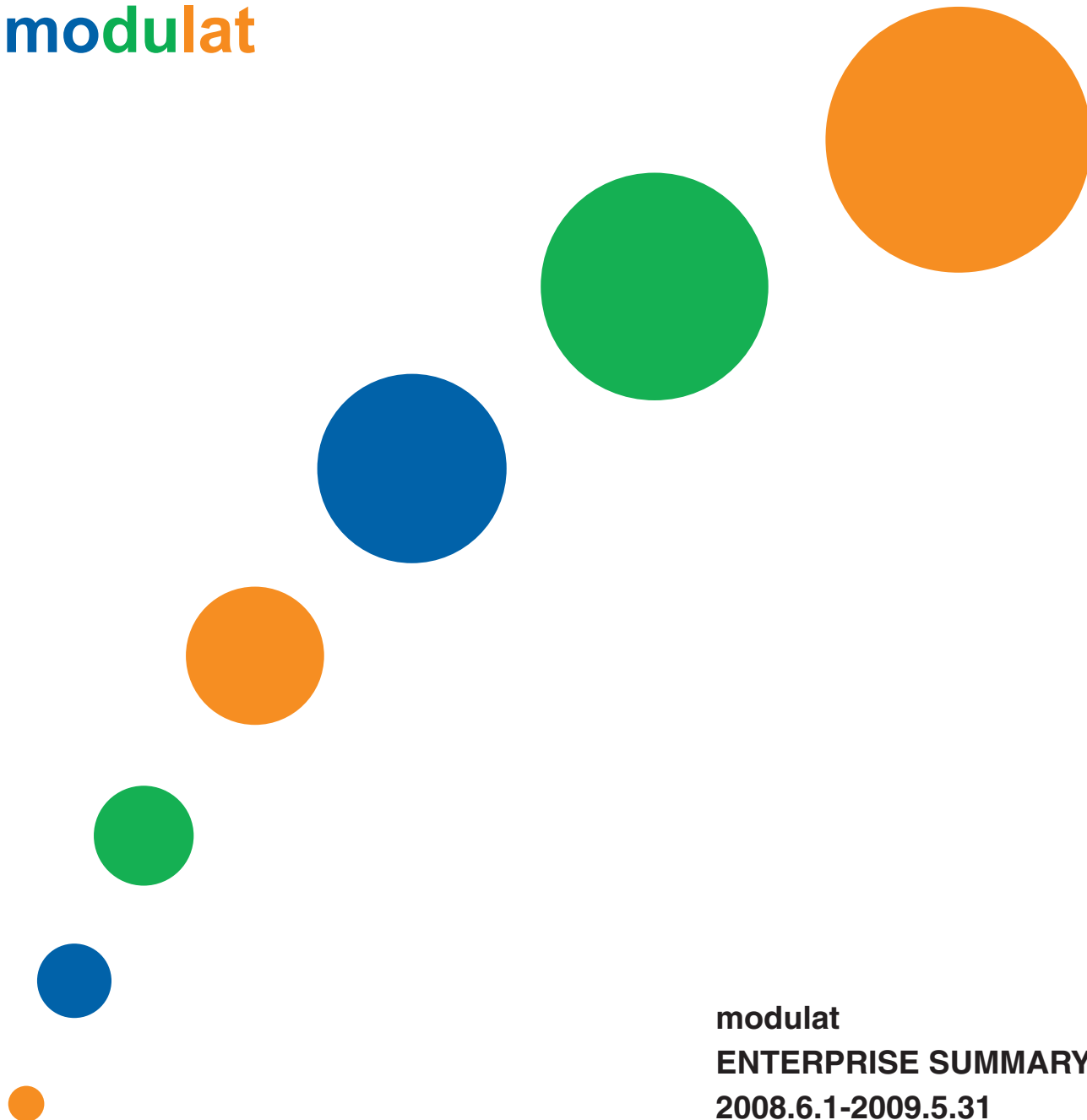


modulat



modulat
ENTERPRISE SUMMARY
2008.6.1-2009.5.31



モジュール株式会社は、2000年4月にPC/PCサーバーに特化した企業の情報システム部門のアウトソーシングを主業務として発足いたしました。以来、常に「お客様にとって何が最適か？」を自問自答し、妥協のないサービスを提供し続けることで、高い信頼と評価をいただいております。当社の強みは、特定のメーカーや製品に縛られず常にお客様に最適なサービスやシステムをご提供可能な「中立性」、それらをお客様のご要望に応じてフレキシブルにご提供できる「オーダーメイド型サービス」、そのために情報システム部門が抱える業務のアウトソースに特化した「利用技術の専門性」、そして「お客様との継続的な関係性」です。私達はこれからもお客様と共に成長していくために、このスタンスを守り続け、そして磨き続けてまいります。

さて、当社の2009年5月期ですが、低迷する経済環境の影響を受けて商品販売が激減し、経営統合を中止して資本戦略や業務構造の再構築に取り組んだ結果、上場後初の大幅な赤字を計上いたしました。経営者として責任を痛感しており、誠に申し訳ございません。但し、このような状況の中でも当社の本業である「継続的ITサービス」は前期比16%増と成長し続けており、同時に徹底した改革により約1.5億円のコスト削減を達成しております。関係者の皆様にはご支援・ご指導いただきましたことに深謝申し上げ、ご心配をお掛けしたことを心よりお詫び申し上げます。

2010年5月期は、既決方針である「本業である継続的ITサービスへの集中」「継続サービス契約の長期化・大型化」を更に加速させ、堅実な事業基盤の回復と黒字復配のV字計画に向かって、そして「全国サービス拠点」や「中小企業様向けITサービス」への第一歩を堅実かつ積極的に展開すべく、役職員一同、心機一転し挑戦を続けます。今後とも、継続的で堅実な事業の成長、企業価値の向上、そして上場企業の社会的な責任の全うに努めてまいりますので、より一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

2009年 8月

代表取締役

松村 明

当期の概況

業績悪化の結果、上場後初の営業赤字、最終赤字

世界的景気悪化に伴う新規IT投資の抑制や繰延と、業務効率化の一部遅れにより、1Q～3Qで営業赤字。(4Q黒字化するが前三四半期の挽回には至らず。)併せて、経営統合関連損失、資本戦略の見直し費用などで最終赤字。

主力のITサービスは堅調、特に継続サービスは増加

商品販売は前期比55%減の惨状だが、ITサービスはこの景況の中でも9%減のみ。特に継続サービスは本業集中の効果により16%増と好調。継続サービスは売上全体の56%を占める。また、経営統合中止等による顧客流出は皆無。

コスト適正化の完了、シンプルな資本と業務の構造を獲得

遅れていた管理系業務効率化を中心に本事業年度で約1.5億円のコスト削減効果を獲得。併せて、事業構造改革、資産や資本提携の整理などの施策によりシンプルな資本構造・業務構造を獲得、ビジネススピードを上げる基礎を整備。

次期の見通し

主力の継続的ITサービスを堅実に維持拡大

既決方針の継続的ITサービスへの集中を加速。契約の大型長期化に堅実に取り組み、中長期の安定基盤とする。(計画微増ながら大規模案件にも取組中。)営業所、新サービスセンターは今秋に稼働予定。中小企業向けサービスは自社で立ち上げ予定。

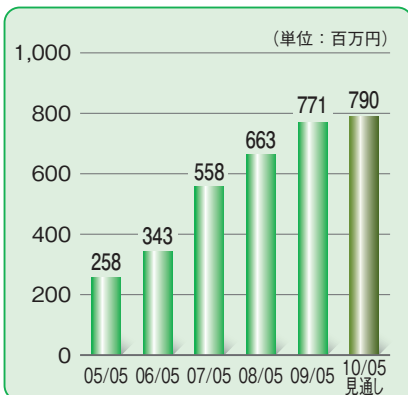
シンプルな資本・業務構造を生かす「コスト適正化計画2nd」

シンプルな資本構造と業務構造を生かして、事業構造が更にシンプルに向かい、全顧客がITに強い状況も強みとして、徹底した業務効率化・システム化を予定。(向こう2事業年度。)社員育成強化と価値観の多様化対応も本格的に開始。

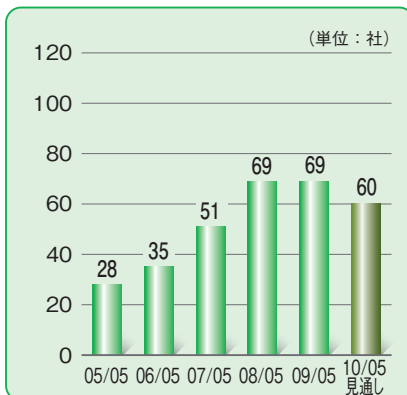
営業黒字化、最終黒字化を迅速かつ堅実に達成

2009年3月度からの黒字復活を堅実に継続し、V字回復を達成、復配を目指す。また、2011年5月期に向けて堅実な営業基盤(2010年5月期は売上の70%以上が受注済み又はそれに準ずる)を更に押し上げる。

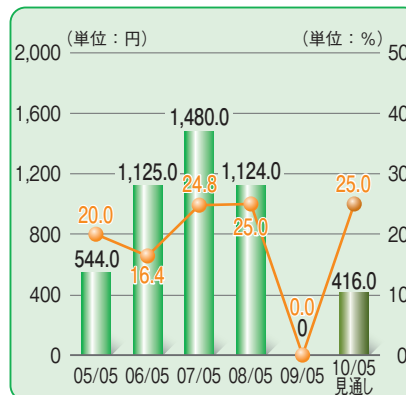
年間継続契約額



顧客数



1株当たり配当額および配当性向



財務諸表 Financial Statements

■ 貸借対照表 (要旨)

(単位：千円)

科 目	第9期 (2008年5月31日現在)	第10期 (2009年5月31日現在)
資産の部		
流動資産	947,701	771,565
固定資産	801,854	626,442
資産合計	1,749,556	1,398,007
負債の部		
流動負債	702,103	642,724
固定負債	409,758	501,965
負債合計	1,111,862	1,144,689
純資産の部		
株主資本	627,456	245,689
資本金	254,219	254,219
資本剰余金	154,217	154,217
利益剰余金	219,018	△162,747
評価・換算差額等	△30	△2,639
その他有価証券評価差額金	△30	△2,639
新株予約権	10,268	10,268
純資産合計	637,693	253,317
負債純資産合計	1,749,556	1,398,007

■ 損益計算書 (要旨)

(単位：千円)

科 目	第9期 2007年6月1日～ 2008年5月31日	第10期 2008年6月1日～ 2009年5月31日
売上高	2,017,554	1,381,218
売上原価	1,587,484	1,134,032
売上総利益	430,069	247,186
販売費及び一般管理費	320,397	273,603
営業損益	109,672	△26,417
営業外収益	3,064	8,039
営業外費用	9,997	126,906
経常損益	102,739	△145,284
特別損失	73	219,169
税引前当期純損益	102,665	△364,454
法人税等合計	41,082	1,913
当期純損益	61,583	△366,367

貸借対照表 POINT

- ・流動資産
売上債権の減少等により、流動資産が減少いたしました。
- ・固定資産
投資有価証券の売却等により、固定資産が減少いたしました。
- ・負債の部
長期借入金と前受金の増加により、負債の部が増加いたしました。

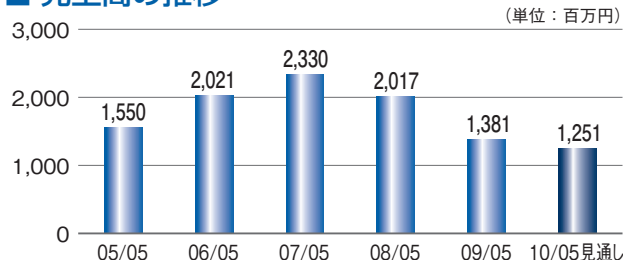
損益計算書 POINT

- ・主力事業であるITサービス売上は堅調だったものの、商品売上が国内景気の減退の影響を受けて厳しい事業環境が続いた結果、売上・利益ともに低調に推移いたしました。

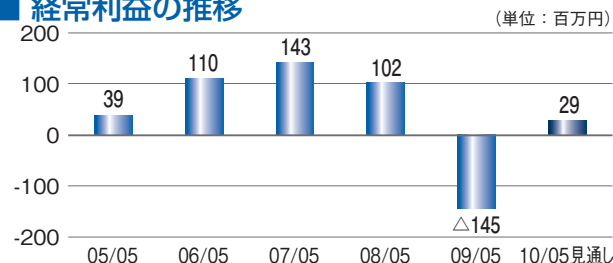
■ キャッシュ・フロー計算書 (要旨) (単位：千円)

科 目	第9期	第10期
	2007年6月1日～ 2008年5月31日	2008年6月1日～ 2009年5月31日
営業活動による キャッシュ・フロー	△37,900	71,913
投資活動による キャッシュ・フロー	△349,990	△267,101
財務活動による キャッシュ・フロー	367,563	6,864
現金及び現金同等物の 増減額 (△は減少)	△20,327	△188,324
現金及び現金同等物の 期首残高	455,848	435,520
現金及び現金同等物の 期末残高	435,520	247,196

■ 売上高の推移 (単位：百万円)



■ 経常利益の推移 (単位：百万円)



■ 株主資本等変動計算書 (要旨) (単位：千円)

第10期 2008年6月1日～ 2009年5月31日	株主資本				評価・換算差額等	新株 予約権	純資産 合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	株主資本合計	その他有価証券評価差額金		
2008年5月31日 残高	254,219	154,217	219,018	627,456	△30	10,268	637,693
事業年度中の変動額							
新株の発行							
剰余金の配当			△15,398	△15,398			△15,398
当期純損失 (△)			△366,367	△366,367			△366,367
株主資本以外の項目の事業 年度中の変動額 (純額)					△2,609		△2,609
事業年度中の変動額合計	—	—	△381,766	△381,766	△2,609	—	△384,376
2009年5月31日 残高	254,219	154,217	△162,747	245,689	△2,639	10,268	253,317

modulat caféとは、お客様、お取引先様との打ち合わせや懇談、お客様との交流、メンバー（社員）同士の懇親を目的とした、自由に利用できるスペースです。



会議室ではなくリラックスできる環境があることで、お客様やメンバーの普段とは違ったコミュニケーションを可能にし、よりスムーズな情報交換や信頼関係の向上につながることを信じています。



ゆったりとくつろげる
こんなスペースも！

当社ホームページにて、今後も積極的に情報を掲載いたします。ぜひご覧ください。
(<http://www.modulat.com>)
皆様のご意見を寄せさせていただきますよう、よろしくお願いいたします。



■ 会社概要 (2009年5月31日現在)

会社名 モジュール株式会社
所在地 〒102-0074
 東京都千代田区九段南三丁目2番7号
 TEL : 03-3556-2461
 FAX : 03-3556-2462
設立 1999年9月
資本金 254百万円
従業員数 41名

■ 役員 (2009年8月26日現在)

代表取締役 松村 明
取締役 高緑 秀行
取締役 木原 礼子
常勤監査役 山田 義範

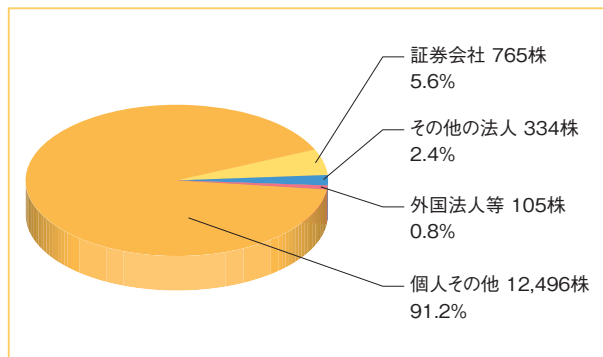


■ 株式の状況 (2009年5月31日現在)

発行可能株式総数 20,000株
発行済株式の総数 13,700株
株主数 624名

株主名	持株数(株)	保有比率(%)
松村 明	8,233	60.1
大阪証券金融株式会社	719	5.2
松村 富美子	270	2.0
飯塚 麻実	261	1.9
齋藤 嗣雄	250	1.8
石原 幸久	228	1.7
岩瀬 英一郎	193	1.4
池本株式会社	191	1.4
佐野 美也子	117	0.9
高緑 秀行	107	0.8

所有者別株式分布状況



事業年度	毎年6月1日から翌年5月31日まで
定時株主総会	毎年8月開催
基準日	定時株主総会 毎年5月31日 期末配当金 毎年5月31日 中間配当金 毎年11月30日
	そのほか必要のあるときは、あらかじめ公告して定めた日

【株式に関する住所変更等のお届出およびご照会について】

証券会社に口座を開設されている株主様は、住所変更等のお届出およびご照会は、口座のある証券会社宛にお願いいたします。証券会社に口座を開設されていない株主様は、下記の電話照会先にご連絡ください。

株主名簿管理人 および 特別口座の口座管理機関	大阪市中央区北浜四丁目5番33号 住友信託銀行株式会社
株主名簿管理人 事務取扱場所 (郵便物送付先)	東京都中央区八重洲二丁目3番1号 住友信託銀行株式会社 証券代行部 〒183-8701 東京都府中市日鋼町1番10 住友信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先)	☎0120-176-417
(インターネットホームページURL)	http://www.sumitomotrust.co.jp/STA/retail/service/daiko/index.html

【特別口座について】

株券電子化前に「ほふり」(株式会社証券保管振替機構)を利用されていなかった株主様には、株主名簿管理人である上記の住友信託銀行株式会社に口座(特別口座といいます。)を開設いたしました。特別口座についてのご照会および住所変更等のお届出は、上記の電話照会先をお願いいたします。

公告の方法	当社のホームページに掲載する http://www.modulat.com
上場証券取引所	大阪証券取引所ヘラクレス

株主の皆様の声をお聞かせください

当社では、株主の皆様の声をお聞かせいただくため、

アンケートを実施いたします。

お手数ではございますが、

アンケートへのご協力をお願いいたします。

下記URLにアクセスいただき、アクセスコード入力後に表示されるアンケートサイトにてご回答ください。所要時間は5分程度です。



<http://www.e-kabunushi.com>
アクセスコード 3043



携帯電話からもアクセスできます
QRコード読み取り機能のついた携帯電話をお使いの方は、右のQRコードからもアクセスできます。



空メールにより URL 自動返信
kabu@wjim.jpへ空メールを送信してください。(タイトル、本文は無記入)アンケート回答用のURLが直ちに自動返信されます。

●アンケート実施期間は、本誌がお手元に到着してから約2ヶ月間です。

ご回答いただいた方の中から抽選で薄謝(図書カード500円)を進呈させていただきます



※本アンケートは、株式会社エーツーメディアの提供する「e-株主リサーチ」サービスにより実施いたします。(株式会社エーツーメディアについての詳細 <http://www.a2media.co.jp>)
※ご回答内容は統計資料としてのみ使用させていただきます。事前の承諾なしにこれ以外の目的に使用することはありません。

●アンケートのお問い合わせ「e-株主リサーチ事務局」TEL:03-5777-3900(平日10:00~17:30) MAIL:info@e-kabunushi.com

モジュール株式会社

〒102-0074 東京都千代田区九段南3-2-7
COI九段三丁目ビル2F



当社は、大和インベスター・リレーションズ株式会社が選定する「インターネットIR(投資家向け広報)サイトの優秀企業賞」を2年連続受賞しました。